

実践教材・教具紹介一覧表







愛媛県立みなら特別支援学校


番号	教材・教具名	紹介メモ
①	水着に着替える際の平面教材 	【小学部】（1年生） 巻きタオルを使った着替え方について学習する際に使用した。洋服等のパーツを取り外しながら、巻きタオルを使って着替える手順を示し、着替える練習に取り組んだ。変化が分かりやすく、注目して活用した。
②	マジックテープはがしの絵本 	【小学部】（1年生） 椅子座位での姿勢保持が難しい児童に、本人の興味・関心のあることを生かして、一定時間、机上で遊ぶことで、姿勢を保持することを目的として作成した。マジックテープを使用して、遊べる絵本にすることで、一定時間、顔を上げた姿勢を保つことができるようになった。
③	おばけのキャンディーつかみ 	【小学部】（2年生） 生活単元学習「なつまつりをしよう」で使用した。箱の中に手を入れて、キャンディーやクッキーを取り出す遊びをした。お化けの顔があるためドキドキしながらつかんだり、取出口にゴムが数本張られているためすぐに手が出せず、つかんだ手を動かす、ずらすなどの工夫をして取り出したりすることを楽しんだ。
④	ばけたくんのパネル 	【小学部】（2年生） 生活単元学習「へんしん！ばけたくん」で使用した。絵本「ばけばけばけばけばけたくん」を基に、作成した。食べ物の模型を口に入れることで「ばけたくん」が変身することにイメージを膨らませたり、次の展開へ期待感を持って注目したりすることにつながった。
⑤	三角コーンを回るための壁 	【小学部】（3年生） 体育「かけっこ」で、折り返しのあるコースを走る際に使用した。折り返し地点の三角コーンの周りを囲うように設置することで、一人で折り返してコースを走り切ることができた。また、壁がなくても三角コーンを折り返して走れるように、段ボールのサイズを少しずつ小さくしていった。

番号	教材・教具名	紹介メモ
⑥	<p>卓上パネルシアター</p> 	<p>【小学部】（3年生）</p> <p>国語「さかながはねて」「おおきなかぶ」や5、6年の算数「5つのメロンパン」などで使用した。持ち運びが容易にでき、教室内で数人の児童が見たり、イラストを自分で操作したりしやすいサイズである（スタンド付き）。児童は興味を持って教師の操作を見たり、イラストを自分で操作したりすることを通して、学習への意欲を高め、物語の世界を楽しんだ。</p>
⑦	<p>シールはがし</p> 	<p>【小学部】（3年生）</p> <p>自立活動の時間で使用した。筆圧が弱く、鉛筆で文字を書くときに震えた文字になる児童を対象に、指先の力を高めることをねらいとして使用した。対象の児童の好きなキャラクターを隠すように丸シールを貼っておくことで、シールを剥がしていくと徐々にキャラクターが見えてくることを楽しみながら、親指や人差し指を使ってシールを剥がした。</p>
⑧	<p>サッカーの回転する的</p> 	<p>【小学部】（4年生）</p> <p>体育「ねらってキック！みならFC」で使用した。ボールが当たると的が回転するため、ボールを蹴る運動に楽しく取り組んだ。裏にも絵があり、強く当たると回転して見ることができると、強く蹴ろうとする意欲にもつながった。4枚のうち、どれを狙うかを考えるようになり、自分でボールの位置や体の動きを考える動機付けになった。</p>
⑨	<p>立体のばけたくん</p> 	<p>【小学部】（4年生）</p> <p>コース別国語「おはなしをたのしもう」で使用した。絵本「ばけばけばけばけばけたくん」を基に、作成した。「ばけたくん」に食べ物の模型を食べさせることを楽しみにしながら学習に取り組んだ。また、食べ物の模型に触れることで、食べ物の特徴をイメージしやすくなり、名前を覚えやすくなった。</p>
⑩	<p>10のまとまりを意識する枠</p> 	<p>【小学部】（5年生）</p> <p>コース別算数「かぞえてみよう～20までのかず～」で使用した。10以上の具体物を数える際に、1から一つずつ数える児童が多かったため、10のまとまりをイメージしやすいよう、プレート（皿）を10ずつ並べたり、10ずつ数えたりするために使用した。一部の児童は、「10といくつ」という数え方にも挑戦した。</p>

番号	教材・教具名	紹介メモ
⑪	赤ちゃん人形 	【小学部】（５年生） 性教育「赤ちゃんがうまれるよ」で使用した。乳児の平均的な体重である 2.5kg の砂袋を布製人形の中に入れ、頭部は不安定になるようにした。また、へそにへその緒をスナップボタンで着脱できるようにすることで、へその緒で母体とつながっていることが分かるようにした。おむつ交換をしたり、リュックに入れて前に抱えることで妊婦さん体験をしたりできる。児童は、抱っこする際に、落とさないよう気を付けていた。
⑫	この音なあに 	【小学部】（５年生） 国語「ものの名前」の学習で使用した。プレゼンテーションソフトを使用し、生活音や生き物の鳴き声と写真、物の名前を順番に提示し学習した。児童は、生活音や生き物の鳴き声を集中して聞き、写真を選択したり、物の名前を口頭で言ったりするようになった。
⑬	円・三角・四角の型はめ 	【小学部】（５年生） 算数「形」の学習で使用した。円柱、三角柱、立方体を落とし込む、丸、三角、四角の型はめ教具である。容器は、のりの空きケースを利用し、蓋にそれぞれの形の穴を開けた。円柱と立方体は市販の物、三角柱は立方体を切った物を使用した。児童は、試行錯誤しながら形を合わせて入れ、慣れるとすぐに入れる児童もいた。
⑭	絵本「だるまさんと」教材 	【小学部】（５年生） 生活単元学習「だるまさんになろう」で使用した。絵本「だるまさんと」を再現するための果物人形である。イチゴはフェルトで作成し、やり取りの場面では、体勢が前かがみになる位置に「ペコッ」と音が鳴るスイッチを置いて、児童がスイッチを押すと同時にお辞儀を再現するようにした。バナナはスポンジマットと布で作成し、尻を当てる部分に録音スイッチを付けて、尻を合わせる場面で「ポニン」と音が鳴る仕組みにした。メロンはバランスボールと麻ひもで作成し、児童が抱きつけるサイズ感や弾力感にした。
⑮	とうがらしの観察日記 	【小学部】（５年生） 生活単元学習「とうがらしをそだてよう」で、栽培したとうがらしを観察する際に使用した。観察するポイントを絞ることで、注目する部分が分かりやすくなった。観察のときには、まずテレビ画面に大きく映して学級全体で確認してから、各自のとうがらしを見るようにした。

番号	教材・教具名	紹介メモ
①⑥	<p>こころの温度計</p> 	<p>【小学部】（6年生）</p> <p>自分の気持ちを相手に伝えるための支援ツールとして使用した。自分の気持ちに近い場所に顔写真を貼って、相手に気持ちを伝えるようにした。朝と帰りの会だけでなく、児童の気持ちに変化があったような場面で気持ちを聞くことを繰り返すことで、「怒っている」「しんどい」などの気持ちも表現することが増えた。</p>
①⑦	<p>まっすぐきれるくん （のこぎり用補助具）</p> 	<p>【小学部】（6年生）</p> <p>生活単元学習「ベンチをつくろう」で使用した。補助具に板をはめ、中央の溝にのこぎりをセットして前後に動かすことで、板を同じ長さに、まっすぐ切ることができる。板が切れたときに「がくっ」という分かりやすい手ごたえがあり、達成感を感じやすかった。また、安全にのこぎりを使用できた。</p>
①⑧	<p>きれいにつくれるくん （ベンチ組立用補助具）</p> 	<p>【小学部】（6年生）</p> <p>生活単元学習「ベンチをつくろう」で、ベンチの座面を組み立てる際に使用した。順番に部品をはめ込んでいくことで、座面の板の隙間が均一になる。また、釘を打つ際に板がずれることがないため、一人で安全に釘打ちができた児童がいた。</p>
①⑨	<p>リズム体操（歩数計の利用）</p> 	<p>【中学部】</p> <p>体育の準備体操にリズム体操を取り入れ、曲に合わせてストレッチや補強運動を行った。歩数計を付けて、歩数をカウントした。グループを作り、それぞれの歩数の総数を競い合いながら、楽しく体操をすることを目指した。体操が苦手な生徒も、歩数が1つでも多くなるよう、体を動かすようになった。</p>
②⑩	<p>キャリー綱引き</p> 	<p>【中学部】</p> <p>体力づくり「体づくり運動（サーキットをしよう）」で使用した。重さが違う3種類のキャリーを準備し、決められた時間内に何kg引けるか、グループで競い合った。ゲーム的な要素を取り入れることで、少しでも重たいキャリーを引くことに自ら挑戦したり、時間一杯取り組んだりするようになった。</p>
②⑪	<p>スパイダーネット</p> 	<p>【中学部】</p> <p>体力づくり「体づくり運動（サーキットをしよう）」で使用した。膝から腰の高さに張り巡らされたゴムを、足を高く上げたり、くぐったりしながらゴールを目指す。体がゴムに触れたかどうか、ゴムに付けた鈴の音を聞いて判断できるようにすることで、楽しくゴールを目指せるようにした。自分たちで判定することで、上手な友達を見付け、なぜ上手なのかを考えるようになった。</p>

番号	教材・教具名	紹介メモ
②②	三角チップス 	【中学部】 数学「三角形でいろいろな形を作ろう」で使用した。三角形を利用し、様々な形を作成した。組み合わせると四角形になったり、ひし形になったりすることに気付くことができた。組み合わせ方を何度も変えながら、自分で工夫し挑戦する姿が見られ、楽しく形の学習に取り組めた。
②③	玉ねぎ苗等簡単植え付けキット 	【高等部】 作業学習の農業・園芸班で使用した。玉ねぎやにんにくなどの野菜の苗等を、簡単に、等間隔に植え付けができる補助具である。植え付け間隔は10cmである。畝に突起を押し付けてくぼみを作り、その中に苗等を入れ、土を掛ければ、簡単に植え付けができる。
②④	生地延ばしの補助具 	【高等部】 作業学習の食品加工班で使用した。クッキー作りを行う際、生地の厚さを均等に延ばすための補助具である。衛生面に配慮し、生地はラップで挟んで使用する。生徒は、同じ規格の製品作りを目標としており、活動意欲にもつながっている。
②⑤	自立活動用教具 	【高等部】 重複学級に在籍する生徒が、自立活動の時間に使用した。自分でボタンを留めることにつながるよう、手指の巧緻性や両手を使った動き、目と手の協応を高めることをねらいとして取り組んだ。ボタンを貯金箱に入れたときの音や、洗濯挟みを並べて付けていくことを楽しみ、積極的に取り組んだ。
②⑥	回転ばち 	【訪問教育】 「歌・リズム」の時間に、太鼓の演奏で使用した。100円ショップの毛玉取り器を利用し、刃の部分を取り除いて小さめのばちを取り付け、電池の部分にBDアダプターを挟み、押しボタンスイッチをつなげた。太鼓と軽く接地するくらいの間隔を空けて使用する。
②⑦	軽量タッチペン 	【訪問教育】 タブレット端末を操作する際に使用した。お菓子やインスタント袋麺などの包装に使用されているアルミの袋を、ストローに巻き付けて作った。タブレット端末の画面を見ながら操作できるように、ストローの長さを変えた。大変軽いため、力の弱い児童生徒にも操作がしやすい。

番号	教材・教具名	紹介メモ
②⑧	スプーンくぼみ作り機 	<p>【城北分校】</p> <p>作業学習の木工班で、今年度から取り組んでいる木製スプーン作りの際に使用した。スプーンのつぼ部分（すくう部分）は形成が難しく、危険が伴うため、安全に作業するための補助具である。</p>